

漁海況情報第11報 (2016年2月9日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

仙台湾の表面水温は平年よりも1℃低め、金華山沖の表面水温及び100m深水温は平年並みから2℃高めとなっています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、6～9℃台となっています。仙台湾内は表面水温が低下し、平年よりも1℃低くなっています。金華山沖の表面水温は9℃台となっており、平年並みから2℃高めとなっています。100m深水温も9℃台となっており、平年よりも1～2℃高めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、各ラインとも表層が冷やされて鉛直混合が進み、表層から150m～200m深まで8～9℃台の水温が様に分布しています [P2.水温鉛直断面図]。

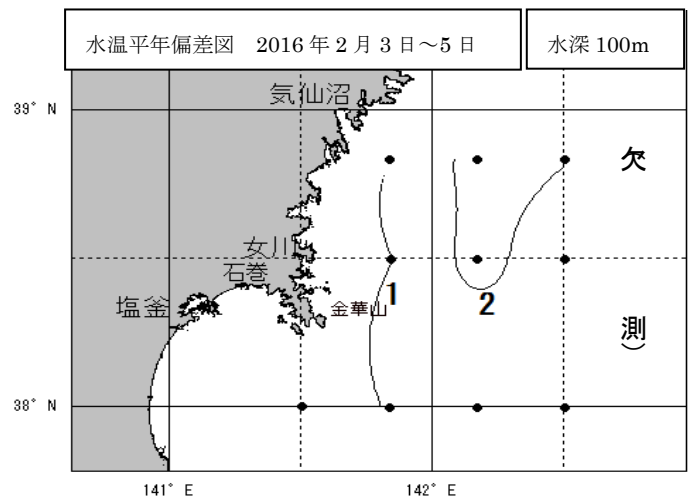
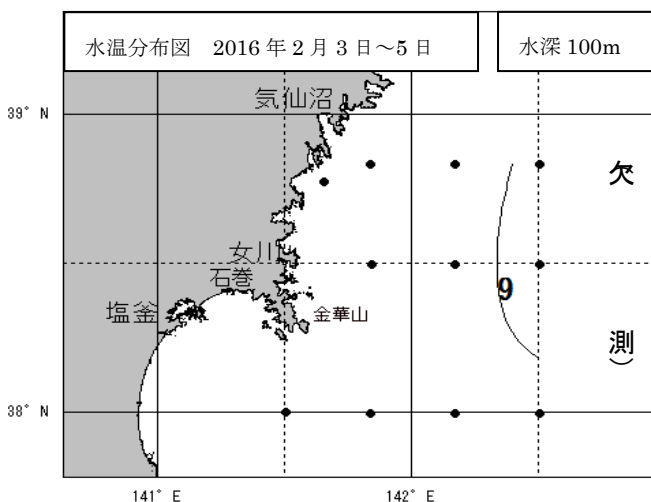
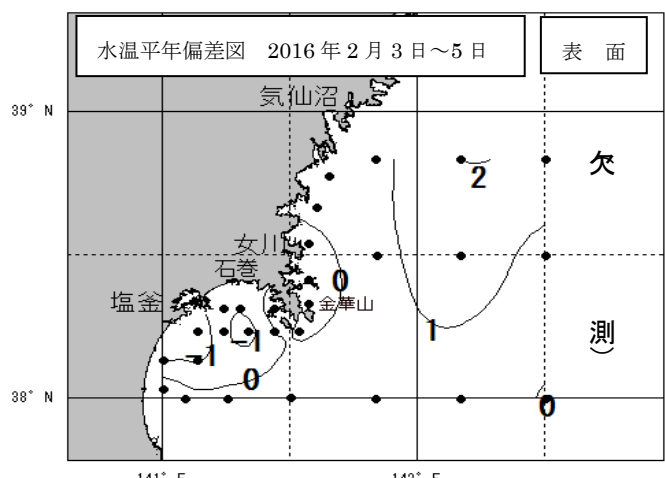
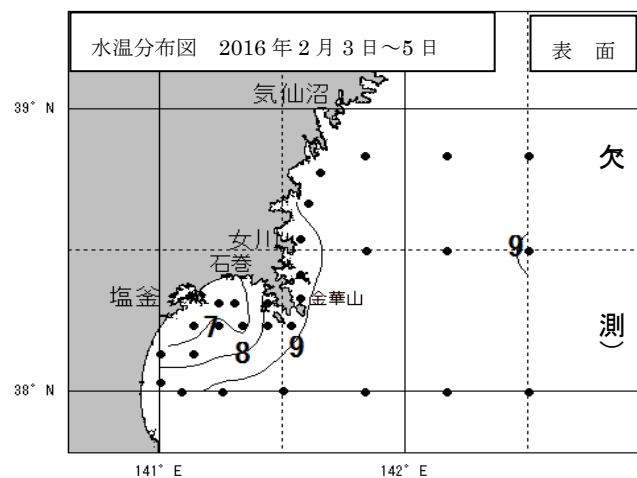
(一社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、親潮第一分枝の先端は久慈沖、第二分枝は沖合から張り出し、相馬沖まで南下しています。 [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

1月下旬の定地水温は4～9℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)で平年並み、江島で「やや高め」、佐須浜で「高め」となっています [P3.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、9℃台となっており、前年よりも高めとなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

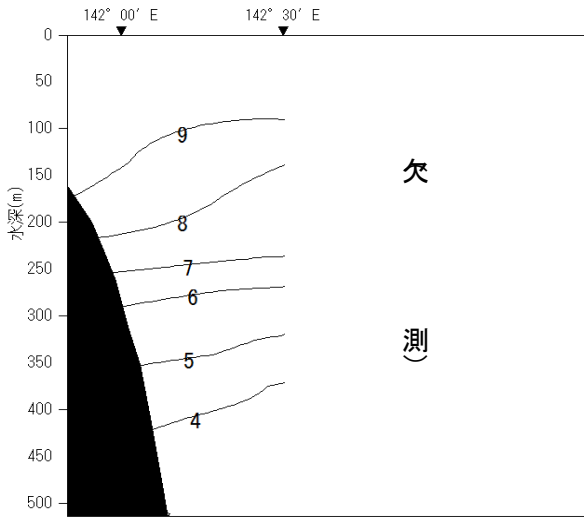


※ 沿岸定線のSt4, St9, St17は荒天のため、欠測となりました。

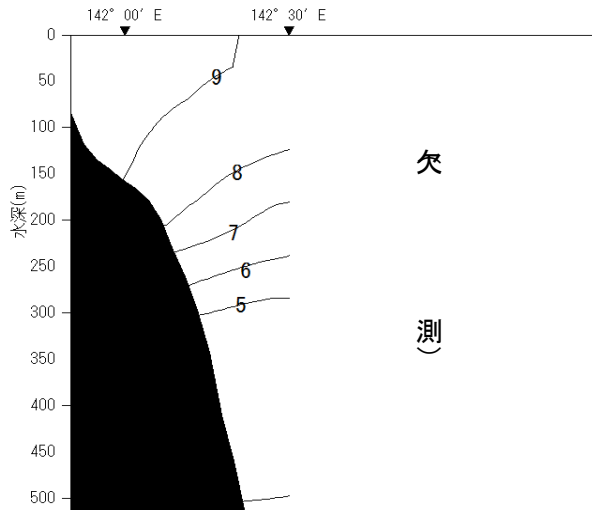
※ 観測はみよしおが実施しました。

・水温鉛直断面図

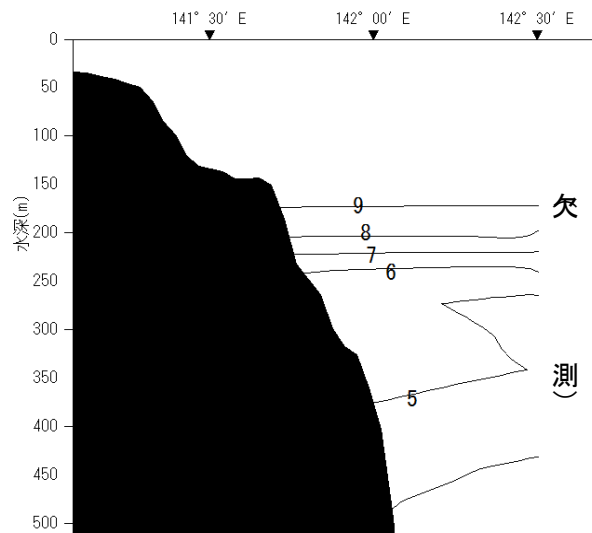
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

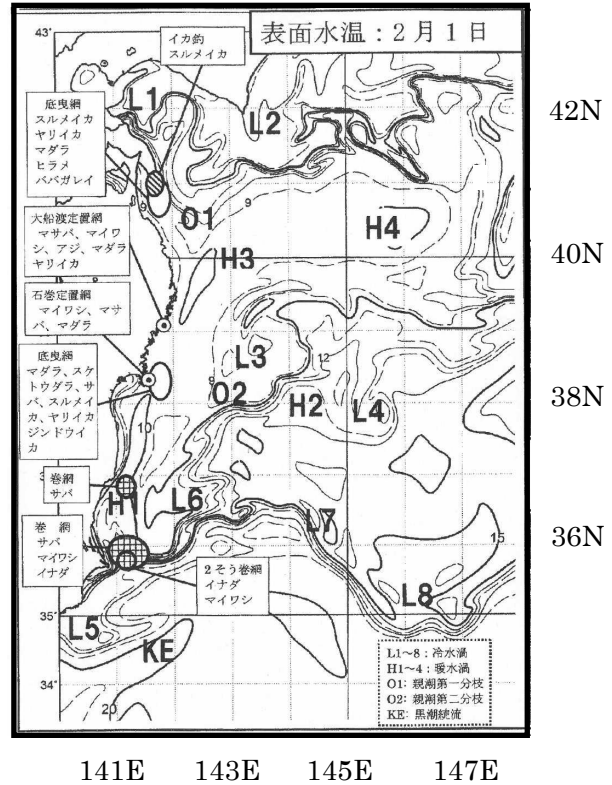


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2016年2月1日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター

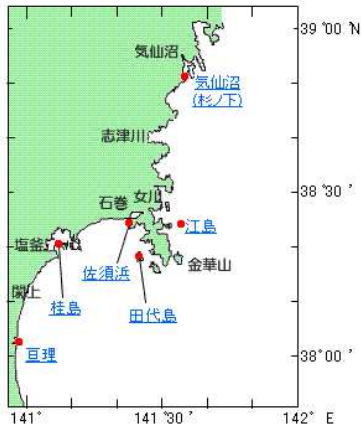


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

(2月1日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1: 8°C台) は久慈沖, 第二分枝 (O2) の先端は相馬沖まで南下。
- ・9°C台の冷水が, 沿岸では三陸沖~常磐, 沖合では 141° 30' E 付近を鹿島沖まで南下し, 周辺の海水温が低下している。
- ・黒潮は (KE, 18~20°C台) は犬吠崎南東 40 海里を流れ, ゆるやかに蛇行しながら東進。
- ・11~13°C台の暖水が鹿島灘を北上, その沖側に 9°C台の冷水が分布し, 暖水渦(H1) と冷水渦(L6) が発生。

・定地海洋観測



観測点	1月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	7.7℃	平年並み	-0.4℃
江島	9.8℃	やや高め	0.7℃
佐須浜	8.0℃	高め	1.7℃
桂島	4.5℃	-	0.2℃
亶理	7.1℃	-	-0.2℃

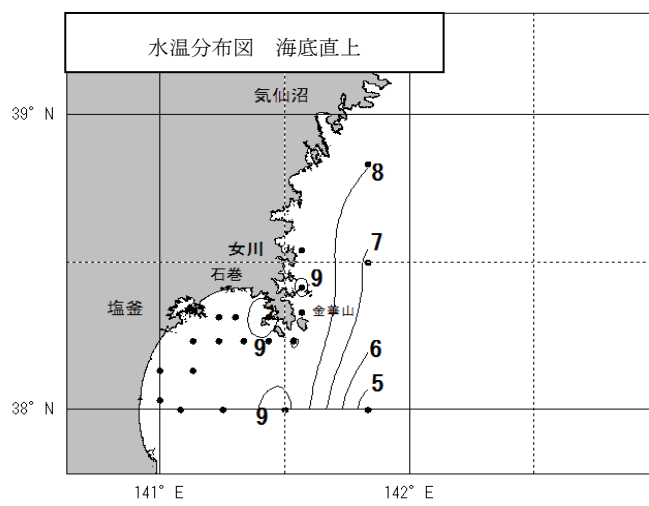
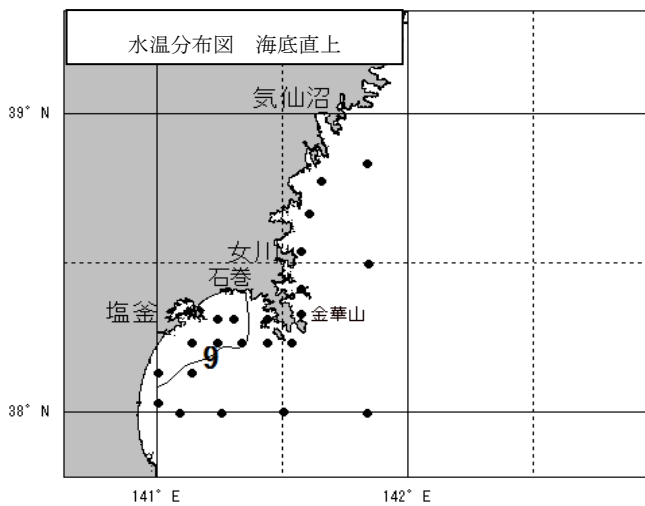
※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差：気仙沼(杉ノ下), 江島 (30年), 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

※定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp/> でも公開中です。

・海底直上水温図

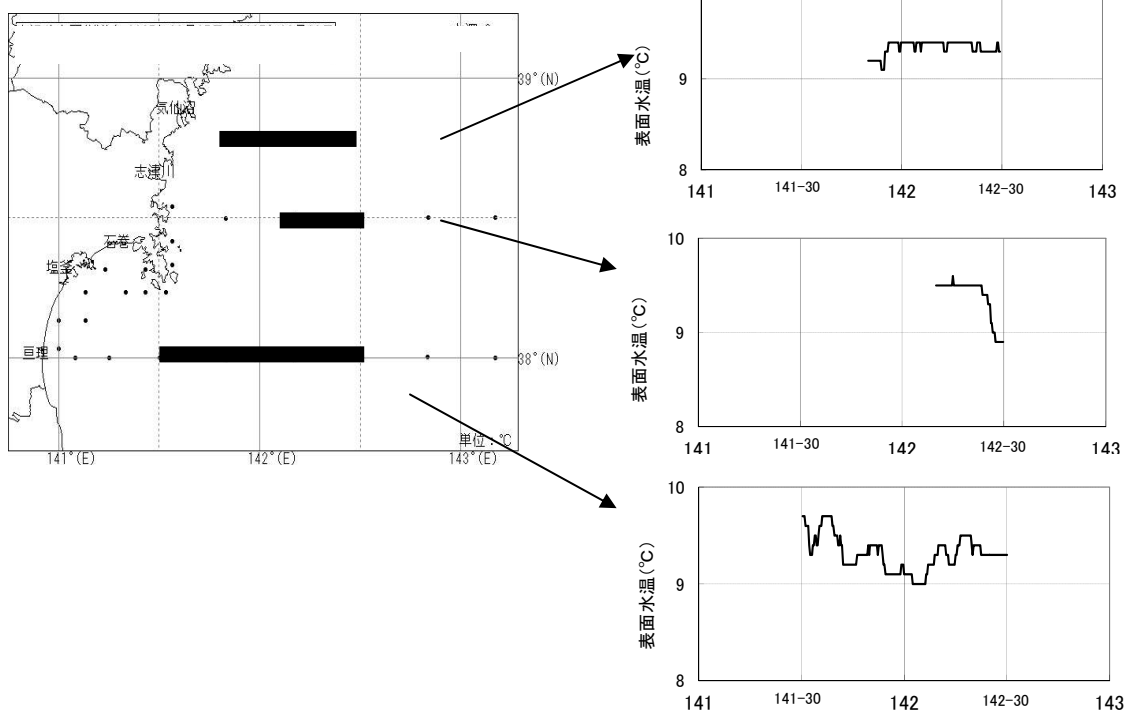
・海底直上水温(2016年2月3日～5日)

・海底直上水温(2015年1月26日～30日)



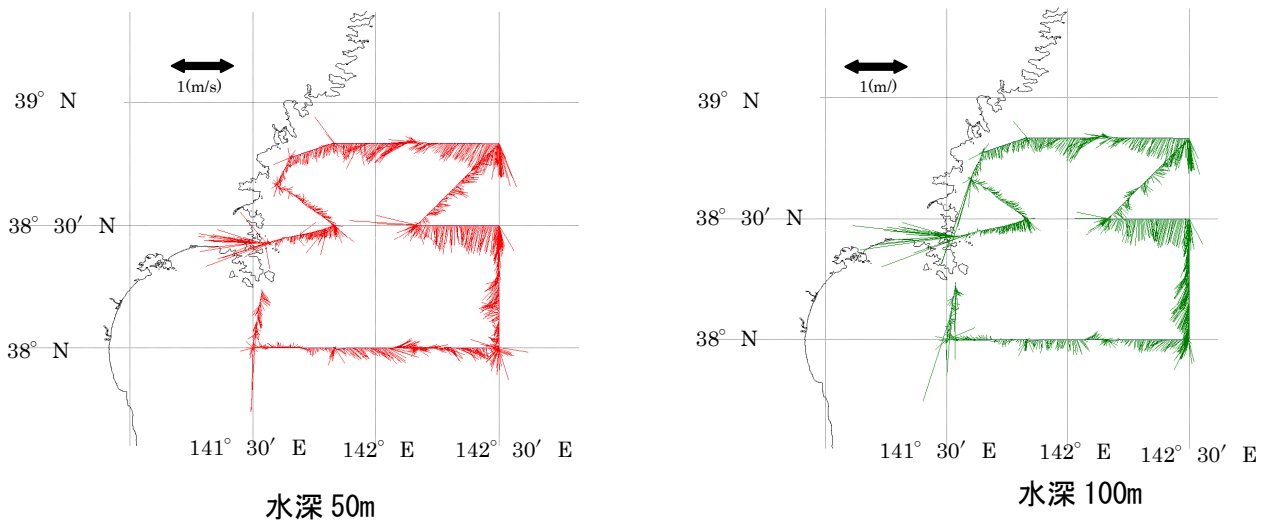
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。50m,100m 深とも概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 27 年の県内魚市場における主要魚種の水揚量は以下のとおりです。前年に比べ、ビンナガ、クロマグロ、マイワシ、サバ類、ブリ、マコガレイ等の水揚げが増え、メバチ、カタクチイワシ、サンマ、サワラ、ヤリイカ、マガレイ、ババガレイ、シロサケ等の水揚げが減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成27年1月1日~12月31日)

	単位:トン											
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ			24,992		12,313	0			3	33	37,341	105%
ビンナガ			1,032		9,043	0			2,800	192	13,067	165%
クロマグロ(メジ含む)			785		0	32	0		21	44	882	207%
メバチマグロ(ダルマ含む)			224		98				1,075	90	1,486	36%
マイワシ	1	1	5,265			7,776	1			163	13,207	137%
カタクチイワシ			11			1,324				70	1,404	50%
サバ類	994	25	40,950			8,278				284	50,531	111%
サンマ				21,334		46				68	21,448	42%
ブリ	8	7	3,527			1,215	9			42	4,808	153%
マアジ	128		82			639	2			32	883	79%
サワラ	4	0	0			150					154	52%
スルメイカ	4,242	5	1					31		0	4,278	83%
ヤリイカ	363	27				58		12		4	465	35%
マダラ	6,329	310					661		20	3,036	10,356	72%
スケトウダラ	4,378	45				9	26			142	4,599	92%
キチジ	91						0			9	100	104%
マアナゴ	59	70				2				169	300	60%
ヒラメ	361	420				64	144			176	1,165	83%
マコガレイ	157	418				3	142			77	798	333%
マガレイ		67				0	74			4	145	28%
サメガレイ	71	0				2				2	75	91%
ババガレイ	188	5				0	14			31	239	54%
シロサケ	98					1,492	247			1,642	3,480	61%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 調査船運航計画

みやしお	
2月17日 ~ 2月18日	オキアミ調査
2月23日	底曳き調査

開洋	
2月17日 ~ 2月18日	オキアミ調査
2月22日 ~ 2月23日	刺網調査